

開館時間 (火)～(金) ▶ 9 時～17 時 ■ 問い合わせ
(土)・(日) ▶ 9 時～16 時 多久市立図書館 ☎75-2233
休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始



四季にちなんだ短歌と
情景豊かな富士山の
挿絵の数々
富士山うたごよみ
作・俵 万智
絵・U.G.サトー
(福音館書店)

「清明」、「穀雨」は、4 月を彩る言葉です。日本の四季の中で生まれ、育まれてきた言葉を題材に詠まれた短歌の絵本。作者は、260 万部ものベストセラーとなった「サラダ記念日」の俵万智さん。挿絵の富士山がいろいろな形で表現されていて楽しめる 1 冊です。



落っこちたバナナが
巻き起こす「じけん」の
結末は?
バナナじけん
作・高畠 那生
(BL出版)

ある日、車からバナナが 1 本落ちてきました。そこへ、さるがやってきて、食べちゃいました。そして、残った皮をポイッ!そこへ、やってきたうさぎが、バナナの皮ですべってころんでツルリッ!その次にやってきたのはワニ。さてさていったいどんな「じけん」になるのでしょうか?



たくましく生きる菜々の
修練の日々を綴る
螢草
作・葉室 麟 (双葉社)

武士の娘であった主人公の菜々は、両親を亡くし奉公に出ますが、迎え入れてくれた奉公先に危機が迫ります。首謀者は、菜々の父を切腹に陥れた仇でした。粉骨砕身がんばる菜々の周りには、春のようにあたたかな人たちが集まってきます。「日本晴れの読み心地」と本の帯にあるとおりの読後感です。

「おすすめの新着本」

「その他おすすめの本」

子育て支援施設 催しのご案内

児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆すこやかタイム

毎週土曜日 10 時 30 分～、
13 時 30 分～

- 4/6(土) 小麦粉粘土作り
- 4/13(土) おりがみあそび
- 4/20(土) メルヘンタイム
- 4/27(土) こいのぼり作り
- ※ 5/4(土) はお休みします。
- 5/11(土) 母の日のプレゼント作り

◆母と子のサロン

毎週火曜日 10 時～12 時
4/9(火) 『子育て講演会』
講師：長崎県諫早市の児童施設
「こどもの城」館長 池田尚さん

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜(祝日休み)
10 時～12 時

場所 多久市児童館

◆園庭開放(杉の子保育園内)

日時 月～土曜日(祝日休み)
9 時～14 時

◆子育て相談(電話相談可)

日時 月～土曜日(祝日休み)
9 時～17 時

【4月の休館日】

1 日(月)、8 日(月)、
15 日(月)、22 日(月)、29 日(月)

【お知らせ】

「としょかんクイズ」

日時 4 月 23 日(火)～27 日(土)

9 時～17 時(火～金)

※土・日曜日は 16 時まで

場所 図書館児童室

内容 楽しいとしょかんクイズをおこないます。クイズ参加者にはささやかなプレゼントがあります。みんなでできてね。

児童向き

- ◆がんばれゆうくん 1 年生 (西本 鶏介)
- ◆えんぎもん (竹下 文子)
- ◆びんぼうがみじゃ (青山 友美)
- ◆ちいさなおはやしさんのおはなし (中沢 啓治)
- ◆はだしのゲン わたしの遺書 (南 智美)
- ◆毎日かあさん 9 (西原 理恵子)
- ◆酒粕おやつ (南 智美)

一般向き

- ◆地図をつくった男たち (山岡 光治)
- ◆小さい宇宙をつくる (藤本 順平)
- ◆スタンフォードの自分を変える教室 (マクニガル)

人権教育 No. 192

とも生

「ものさし」

新年度のスタートと同時に、新しい人生のスタートを切られた人もおられると思います。新しいことを始めるときは、楽しみもあり、不安もあります。どんな人と出会うのか、どんな出来事が待っているのか。しかし、どこに行っても、どんな人に出会っても、忘れてはいけないことがあります。それは、「自分のものさしで人を判断したり、物事を見たりしない」ということです。私たちの社会には、いろいろな人が暮らしています。育ってきた環境や学んできたことによっても、一人ひとり考え方も価値観も違います。また、同じ物事でも、捉えかたによっ

て、感じ方が違います。ということは、「人それぞれのものさしがある」ということです。人は、相手から認められ、受け入れられると嬉しいものです。しかし、私たちは、つい自分の尺度で物事を判断してしまい、自分と考えが合わないと感じ入れないことがあります。そうになると、自分の世界を狭めるだけでなく、間違った認識で人を傷つけたり、偏見や差別で人を苦しめてしまうこともあります。逆に自分が傷つけられる場合もあります。人と向き合い人を受け入れるためには、その人のことを知り、その人の考え方、価値観を認め、尊重することが必要です。「ものさし」は多ければ多いほど、たくさんの人と、ともに豊かに生きていくことができると思います。

前社会教育指導員 福島かおり